平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	5	―	5

1　事務事業の表示

※　■：　該当

事務事業名	エキノコックス症検診					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	保健福祉課長	作成者	職名	保健係長
		氏名	淡路至尊		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	北海道特有の感染症であるエキノコックス症の早期発見・早期治療を目的としてエキノコックス症検診（血液検査）の実施及び二次検査対象者への受診勧奨等の保健指導を実施する。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）	/単年度繰返
事業費 国・道支出金	千円
地方債	千円
その他	千円
一般財源	1,360 千円
事業費計	1,360 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　）
第 5 期 総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
	基本施策	6	保健・医療の充実
	単位施策	2	成人保健の充実
	事務事業の種類	■	自治事務　□ 法定受託事務
	その他計画・根拠等		北海道エキノコックス症対策実施要領

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	218 千円	149 千円	280 千円	220 千円	272 千円
合計	218 千円	149 千円	280 千円	220 千円	272 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	小学3年生以上の町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険性がある	エキノコックス症検診受診率の向上		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	エキノコックス症の感染を早期に発見し、適切に対応できる	① 検診受診率	目標年度	22年度
			目標値	30 %
			実績値	27.3 %
			達成度	91.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	エキノコックス症を早期に治療することで健康的な生活を送ることができる	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
検診の実施	特定健診等と同時にエキノコックス症検診（血液検査）を実施し、二次検査対象となった方へは北海道が実施する二次検診の受診勧奨、受診に向けた調整等の保健指導を実施した。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	■義務的なもの ■全部 □一部	対策実施要領により市町村に検診実施の義務がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	検診は5年毎に対象となるため事業実施年度により受診者数・受診率の増減がみられるが、目標をほぼ達成することができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	特定健診、医療機関における個別検診と同時に実施することで作業を軽減し効率的に実施することができた。 また、医療機関の協力により職域検診受診者への受診勧奨を強化したことで効率的に効果を上げることができた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	受益者負担はないが、広報折込ちらし、町内公共施設等へのポスターの掲示等により広く町民へ周知した。また、集団検診と医療機関における個別検診の機会を提供することで公平性を保つことができた。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
他機関との連携等によりほぼ目標を達成することができた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
特定健診・がん検診等との同時実施や個別検診の強化を図りながら事業を継続する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）